

JAICOH NEWS LETTER

第42号 2003年10月1日

歯科保健医療国際協力協議会

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2286

発行：深井稔博 編集：沼口麗子 現会員数：245名

JAICOH総会および学術大会開催！

報告 JAICOH理事 沼口麗子

さる七月十三日(日)昭和大学歯科病院臨床講堂でJAICOHの総会と学術大会が行なわれました。

現在日本で歯科保健医療を中心とした国際協力を行なっている団体や個人(歯科医、衛生士、学生等)約四十名が参加しました。

午前中は人材育成についてのシンポジウムがあり、世界四カ国で歯科医学教育を支援している宮田先生と、地域保健の分野でネパールで永年活動をされている中村先生から話題提供がありました。またJAICAに所



左：宮田隆歯科医学教育国際支援機構代表
右：中村修一ネパール歯科協力会理事長

属している小宮愛恵先生からJAICAとしての国際歯科保健に対する現況のお話しもあり、全く異なるアプローチで行なわれている国際協力を具体的に知る事ができました。

午後からは団体、個人含め八題の口演発表がありました。さまざまな国でそれぞれご苦労されている様子がわかり、各活動団体が活発に意見交換を行ないました。特に資金面ではどの団体も悩んでいる実情がみられました。



興味深い講演に、聴き入る参加者
立場や世代を越え全国各地から約40名が集まった

わが国では現在活動団体の交流の

場や情報交換の場は意外と少なくそれぞれ孤立し悩みながら活動しているのが実態です。このためJAICOHは二〇〇〇年から我が国のNGO団体や個人の連携と交流を促進し情報交換を図る事を主な活動としてきました。二〇〇二年には関係団体の協力で「歯科保健国際協力NGOダイレクトリー二〇〇二年版」を発行しました。

今回、はじめて、このような形で海外で活動している国内の団体や個人が一同に介して、公募で活動報告会ができ、わが国における国際歯科医療保健の新たな一歩を踏み出すことができました。

JAICOHとは…

▼名称 歯科保健医療国際協力協議会 (Japan Association of International Cooperation for Oral Health) ▼組織設立年 1990年9月 ▼代表者 深井稔博 (会長)

▼E-mail: fukaik@ka2.so-net.nc.jp

本会は理事会が中心となつての運営されている。理事は、ネパール歯科医療協力会、日本モンゴル文化経済交流協会、南太平洋医療隊、日本口唇口蓋裂協会、北海道ブータン協会、DHネットワークなど海外活動団体の役員などで構成されている。

第14回 歯科保健医療国際協力協議会総会および学術大会プログラム

会期：二〇〇三年七月十三日（日） 会場：昭和大学歯科病院臨床講堂

運営委員長・大会会長

J A I C O H 副会長 鈴木基之

（昭和大学歯学部歯周学講座）

▽タイ、カンボジアの歯科医療の現状と相違

田中宏和（日本大学松戸歯学部国際保健部）

■開会の挨拶 深井稜博

■シンポジウム（座長：深井稜博）

「国際歯科保健医療協力における人材育成」

シンポジスト

宮田隆（歯科医学教育国際支援機構）

中村修一（ネパール歯科医療協力会）

■理事会・総会

■口演発表（座長：鈴木基之）

▽フィリピン・セブ島・セブ市における「フッ素洗口プロジェクト」について

海野知子（KADVO-OHK）

▽インドネシア共和国における口唇

口蓋裂治療の技術教育支援

針谷靖史、野口誠一、今岡典子、夏

目長門、札幌医科大学医学部口腔外

科学講座、愛知学院大学歯学部口腔

外科、日本口唇口蓋裂協会、愛知学

院大学口腔先端科学研究所国際協力

部門

▽トンガにおける医療活動

時田信久（南太平洋医療隊）

▽モンゴルとの国際医療交流

黒田耕平（日本モンゴル文化経済交

流協会）

▽ネパール歯科医療協力会十四年間のあゆみ

小原真和（ネパール歯科医療協力会）

▽北京市における在留邦人の歯科受

診動向

田中健一（北京天衛診療所）

青年海外協力隊へはどのような歯科

医師が参加しているか

原田祥二（原田歯科）

▽青年海外協力隊としてのボリビア

での活動報告

斉藤さつき（DHネットワーク）

■閉会の挨拶 鈴木基之

*** **

■懇親会（歯科病院学生ホール）

◇シンポジウムより（抄録より抜粋）

主題：国際歯科保健医療協力にお

ける人材育成

座長 深井稜博（JAICOH会長）

今回、歯科保健医療の特性を踏ま

えて、医療協力の分野での人材育成

に取組まれている宮田隆先生と、地

域保健開発の分野で永く活動をされ

ている中村修一先生にそれぞれ話題

提供をしていただき、参加者の皆さ

まど歯科保健医療の分野における人

材育成のあり方について、以下の進

行で討論したいと考えています。

話題提供1

人材育成を主眼とした国際貢献

歯科医学教育国際支援機構

代表 宮田 隆

歯科医学を介した国際貢献には

様々なアプローチがある。対象とす

る地域住民に歯科医療を提供するパ

ターンは最も直接的でかつ献身的な

活動である。医療を施すことよりも

検診や啓蒙によって歯科疾患を予防

し、地域住民の健康に寄与する活動

も大変重要であり、また高い効果が

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

11か国語対訳
歯科診療会話集
国語 吉田けい子

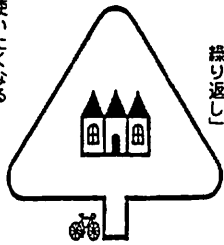
1ページは対訳文とし、約370の会話表現に「英語・インドネシア語・中国語・ポルトガル語・タイ語・韓国語・アラビア語・スペイン語・ベトナム語・ミャンマー語・シンハラ語」の訳をつけました。

●A5彩214P ●定価1本3,000円＋税 ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
TEL：03-3947-8301 FAX：03-3947-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ



（ホームケア）歯ブラシ
株式会社 永山

☎0120-118418
FAX☎0120-648581

「GC」
はじめての
コンポジット直接充填！
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー！

ユニファルF ■長期的なフッ素の放出。
■ビタシェード9色+A03、CV。

ユニファルボンド
■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル ☎0120-416480

期待できる。その一方で、それぞれ

の国の医療を担う人材を育てる活動、
というのも長期的な視野から観ると
大変重要な活動となる。私がここ十
数年、カンボディアを中心として行
ってきた活動はこの人材育成という
範疇に入る。人材育成に限らず、国
際貢献の対象となる国や地域で活動
するには幾つかの前提となる「理解」
が必要である。それは、大きく分類
して次の四つであると考ええる。即ち、
▽支援対象国・地域の特殊性を理解
する▽支援対象国・地域の政治体
制・文化・医療に対する考え方を理
解する▽支援対象国・地域の健康に
対するニーズを理解する▽支援側の
能力(人材育成能力、時間的負担能力、
経済的負担能力)である。

現在、我々の法人が活動の対象国
として扱っているのは、カンボディ
ア、ラオス、東ティモールそしてラ
テン・アメリカ諸国である。それら
の国々はそれぞれの個性も、政治体
制も健康に対する考え方も全く異な
る。(中略) それぞれの国の状況、事
情を勘案し、我々のいままでの人材
育成、という観点からの活動を通し、
どのような国際貢献、協力をすべき

かを考察する。
話題提供2

国際歯科保健医療協力における人
材育成について
ネパール歯科医療協力会

理事長 中村 修一

国際協力の理念は国際人道主義に
基づく自立支援である。自立支援に
は資源(人・物・金・情報)の途上
国への移転が必要となる。この中で
途上国のリーダーを育成する人材開
発は自立への中心課題である。

人材育成には、国内での日本人を
対象とした専門家育成と、途上国の
ローカルリーダーを対象として専門
家育成がある。日本人専門家を対象
とした育成は協力事業を遂行する為
の簡単な技術移転でよいが、途上国
の人を対象とする育成事業は受講生
の基本的知識をベースに理解可能で
プロジェクトに直接役に立つ技術移
転が必要となる。(後略)

各団体の活動予定のお知らせ

*ネパール歯科医療協力隊第17次隊

二〇〇三年十二月二十三日〜翌

年一月四日 ネパール国内の数カ所

で歯科診療、口腔保健専門家養成、
学校歯科保健、地域保健等の活動を
予定している。歯科医師、衛生士、
学生ら約四〇名が参加予定。

*歯科医学教育国際支援機構

二〇〇三年一〇月より、約一年間、

JICAのプロジェクトで富田代表
がカンボディアへ。

バタンボンその他の地区で歯周
病予防の啓発および歯周病のプライ
マリケアを実施。現在、カンボデ
ィアプロジェクトを応援してくる
歯科医師、歯科衛生士を募集してい
ます。ボランティア参加ですが、是
非、御協力を。

二〇〇三年十二月五日から九日
インドネシア・マハサラワティ大学
およびハサヌディン大学にて集中講
義、現在七名の歯科医師矯正、口腔
外科、補綴、歯内、歯周などが参加
予定。

二〇〇四年一月 カンボディア、
プノンペン市で行われる「口腔保健
会議(National Oral Health Conference)」
に日本歯周病学会が公式に参加。数
名の演者を派遣予定。現在、演者を
公募中です(詳細は日本歯周病学会の
ホームページ参照)。

J A I C O H NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

**世界の
歯科医療に貢献する**

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康への
ゲートであり、幸福のシンボルです。
いくつになっても、さわやかな笑顔で人生を
楽しく過ごしていただきたい。
歯科医療に関わるものとして、
松風の究極の目標はそこにあります。

株式会社 松風

〒101-8254 東京都千代田区神田保町1-14-13 総研デンタルビル
TEL 03-3219-2271 FAX 03-3219-2707 http://www.dental-diamond.co.jp

むし歯の新しい処置と予防 全4巻

監修 長崎大学歯学部 飯田洋一

I.むし歯ってどうしてできるの?
- 脱灰と再石灰化のはなし -

II.おうちでできるむし歯予防
- 脱灰をふせくセルフケア -

III.むし歯のはじまり(脱灰)の処置
- プロフェッショナルケア -

IV.上手につかってむし歯予防
- 再石灰化をたすける物質 -

各巻定価(本体12,000円+税)
4巻セット定価(本体45,000円+税)

Dental Diamond 株式会社

〒101-8254 東京都千代田区神田保町1-14-13 総研デンタルビル
TEL 03-3219-2271 FAX 03-3219-2707 http://www.dental-diamond.co.jp

**精度と信頼
PRECISION & RELIABILITY**

ナカニシの製品は、
世界120ヶ国以上で
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ

〒322-8686 栃木県鹿沼市下日向700
TEL 0289-64-3380 FAX 0289-62-5636
http://www.nsk-nakanishi.co.jp

TÜV
ISO 9001
ISO 14001

from student

タイ、カンボジアの歯科医療の現状と日本との相違

日本大学松戸歯学部国際保健部

田中宏和

私たち八人の部員はタイとカンボジアの歯科大学訪問を目的として日本を出発しました。

まず初めにタイ東北部に位置するコンケン大学を訪問し、歯学部、歯科病院や研究施設を見学してまわりました。ここで気づかされたのは、イメージしていたものとは全く違っていいほど、とても施設が充実していることでした。医療やその研究というものに対し、この国が力を入れていることがその施設一つとって容易に想像できました。

また驚かされたこととして挙げら

れることは、五、六年年の臨床実習の違いでした。全て生徒による治療を行う光景は、日本では考えられないことでした。

滞在中は学生寮で生活しながら、タイの学生と学校生活の話などいろいろな会話をしましたが、タイの学生の勉学への貪欲さはものすごいものでした。タイの学生は全寮性でたゆまず勉学に励んでいます。そんな学校生活と私たちの普段の様子を較べてみると、なにか危機感のようなものすら感じました。

タイという国で過ごし、考えさせられたことは国内のものすごい経済格差でした。

カンボジアに入り斎藤先生、宮田先生と合流し、カンボジア唯一の歯科大学での先生方の講義を聴講しました。

ポルポト政権下における、知識階級の虐殺という悲しい出来事のためにカンボジアの医療は満足できる体制ではありません。なにが足りないかと言えば、一番は医療人の数です。(歯科医師は虐殺直後は数人しか残っていません。)

斎藤、宮田両先生のこのような地道な活動は、カンボジアの歯科医師を育てることに大変貢献されている

と思われました。人材を育成することは間違いなく歯科医療全体の向上につながります。

数人しか残らなかった歯科医師の一人である、その大学の校長先生が日本からの設備や知識の供給を大変喜んでいらつしやっているのを見て、日本が世界で行うべき、このような活動の重要さを目の当たりにした思いです。

今回、このスタディ・ツアーを通して、海外医療ボランティアの重要性を改めて感じる事ができました、また海外の歯科学生のすさまじいほどの勉強に対する貪欲さは私たちにとって大変良い刺激になりました。

Seeds Project

本年度シースプロジェクト助成団体の紹介

理事 阿部 智

「スリランカ・スタディツアー・プロジェクト二〇〇三」北海道大学歯学部冒険歯科部(仮) (新美完)

「在日外国人の受入れに関するアンケート」コミュニティ・デンタル・サーヴィス(中久木康一)

本年度のシースプロジェクト助成団体が以上の二つの団体に決定した

ご協力いただいております

スーパーボンドは、1982年に発売以来基本組成を全く変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に、動揺物の固定に、支台築造に、垂直破折歯の保存に、生活象牙質切削面の保護に

信頼と実績の多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル: 0120-418-303
URL: http://taihei.co.jp/sunmedical/

しましたので報告します。

北海道大学冒険歯科部(仮)は昨年度に引き続きの助成です。今年度のJAI COH総会で昨年度の活動報告をしていただきました。今度のプロジェクトは本年八月に実施されたもので、現在は報告書の作成に取りかかっているとのことです。

コミュニティ・デンタル・サーヴィスの中久木氏は長年SHARE(国際保健協力市民の会)などで在日外国人の健康問題に長年取り組んでこられました。今回は「在日外国人の受入れ可能な歯科医療機関の情報収集」を目的として申請されました。

従来の口腔衛生指導とあわせて在日外国人受入れ可能な歯科医療機関を紹介することにより、彼らの健康を推進できることが期待されます。

